

とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第2回目）6月6日

【活動内容】『違いを感じるかな？』

色々な物の温度や色、感触の違いが感じられるように砂を濡らしてみたり、様々な場所に水をかけ、その変化を観察したりしました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・園庭用バケツ・ジョーロ・手作り牛乳パックバッグ・カップ

【子ども達の姿と発見】

・砂が入ったバケツに水を入れる。「お水どこ行っちゃたのかな」「おうちにかえったんだよ」ともっとお水を足し、子どもが持ってみると「おもしろい」。水の様子や、重さに気が付く姿があった。

・バケツの砂に「もっといれてー」と砂が見えなくなるまで、水を入れた。「砂どこ行った？」と聞くと、バケツの中から砂をすくい「あったー」と、砂に水が隠れる様子を楽しむ姿があった。

・遊具を水で濡らすと、手で触れる姿があった。しばらくして乾き始めてから再度触ると、手に水が最初よりつかないことに気が付く姿があった。

・バケツを二つ用意し、乾いた砂と濡らした砂をそれぞれ用意した。一人の子のバケツの砂を濡らすと「おいしそう」、続いて乾いた砂をもう一方の子に見せると同じように「おいしそう」と見立てる。「触るとどう？」と問いかけると、両者「きもちいい」と伝えてくれた。終始、一人の子は濡らした砂、もう一方の子は乾いた砂を好んだ。それぞれの感触を感じた上で好きな感触を選ぶ姿があった。

・濡れた砂を容器に入れ「チョコレートだよ」と教えてくれる。乾いた白い砂をさらに加えながら、「おさとうだよ」と。シャベルで中身を混ぜながら「ちょこれーとつくってる」と色の違いを利用しながら見立て遊びが広がっていた。

・傾いたシーソーに水を流してみた。駆け寄ってきた子どもが、傾きの低い方で容器を持ち、流れてくる水を集め始めた。「ながれてる」「（水が）はいった」等、水の流れる様子を観察する姿があった。シーソーを何度動かしても傾きの低い方に移動し水を集めようとする姿があったため、傾きと水の流れの関係性を理解しているようだった。

※今回は、【水の様子】に気づき興味を持った子が多かったので次回は、水の動きや量や重さなどが感じられるような活動をしていきたいと思います。

